

# tree house project 木の子

植田陸（環境人間学部環境デザイン系2回生）

キーワード：里山，ものづくり，こども、イベント

## 1. 団体説明

木の子は、①地域の自然を利用した子どもや大人の環境教育・学習・地域交流の創造，②学生が協力して地域に貢献する場の創造，③建築，都市計画を先行する学生の実践の場という3つを活動理念としている。また，ツリーハウスを里山のシンボルとし「地域」「里山」を盛り上げたいという想いで環境教育やイベント，ツリーハウスや遊具の制作を実施。さまざまな世代の人々が里山という空間や時間を共有することによる，繋がり創造を目指している。現在1回生7名，2回生6名が所属している。

## 2. 2022年度の活動

活動規制が前年度よりも緩和されたこともあり，コロナ禍以前程ではないものの，前年度より活動の頻度を上げることが出来た。その結果，1～3回生で協力してバタフライガーデンの作成，そして，ものづくりにも着手することができ，ものを作ることの楽しさ，安全のために考慮すべき事などを学ぶことが出来た。

また，11月からは，来年2月に開催を予定している地域の小学生を招いたイベントに向け，対面会議とオンライン会議を実施した。そこでは学年

4月	バタフライガーデンづくり 日時計，物置設計開始
6月	物置製作
9月	日時計制作
10月	鉢植え
11月	花のイベント企画開始



写真2 鉢植えの様子  
(出所)所属学生撮影



写真2 物置制作様子  
(出所)所属学生撮影

の隔たりなく意見を交換することができた。前年度の花の植え替えでは，地域の方との交流を通して非常に貴重な経験を得ることが出来たので，今回のイベントでもそのような機会にできるよう，現在もメンバー全員で協力し，活動している。木の子の活動は設計などの実践だけでなく，仲間や地域の人々との関係を築くことで成り立っており，卒業後の生活にも大いに生かすことができると確信している。

## 3. 活動を通した学び

私たちはツリーハウスや遊具などを設計，作成することに加え，小学生を対象としたイベントを企画，運営することを活動の軸としている。

設計，作成では学生だけで案を出し，顧問教員の指導の下で設計，施工をしている。デザインに着目するだけではなく，目的や役割などの使用者のことを考えて設計している。これによって建築，都市計画の本質である部分を学ぶことができる。

イベントの企画運営では，里山で子どもたちや地域の人の交流の場となり，安全で楽しむことができることを目的としてイベント企画をしている。このように運営することで実践力や発想力，創造力などが得られる。

それらに加えて Twitter や Instagram，YouTube での情報発信も行っており，これらによって企画力，行動力，情報収集力などのさまざまな力が身に付くと考えている。

## 4. 展望

さまざまな世代の人が，山という同じ空間を共有するひとときを過ごすことで，つながることを目指している。

【謝辞】日頃から活動をサポートして頂いている，熊谷哲先生（兵庫県立大名誉教授，NPO 法人はりま里山研究所 所長），世良田ひとみさん（親子子育てメンター），地域の方々に感謝の意を表します。